

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（いしかりそらち） 石狩空知森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署																
事業の概要・目的	<p>この地域は、朝里岳（1,281m）、無意根山（1,464m）、漁岳（1,318m）、恵庭岳（1,320m）を主峰として、豊平川、千歳川、漁川等の集水域となっている山地で、トドマツ・エゾマツ・ミズナラ・カンバ類等が混交する天然林とトドマツ・アカエゾマツ等の人工林で構成されている定山溪・千歳地域と、日本海に面する海岸線から内陸に位置し、カンバ類・ミズナラ等を主とする広葉樹の天然林が多く、一部トドマツ・カラマツの人工林で構成されている浜益・厚田・当別・積丹地域からなる。</p> <p>これらの森林については、ほぼ全域が保安林となっており、札幌市をはじめとした都市圏の水源地として、また、基幹産業である農業の振興や漁場の保全に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源かん養機能の発揮が求められている。また、森林や湖沼、海岸など自然美に富んだ景勝地が多く、支笏洞爺国立公園をはじめ、ニセコ積丹小樽海岸国立公園並びに野幌森林公園が道立自然公園に指定されていること等から、登山やスキー、森林散策などのレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、支笏洞爺国立公園や野幌森林公園道立自然公園の森林については、人工林を主体に、平成16年の台風18号により多大な風倒被害を受けたところであり、大部分の処理は終了したものの、森林の有する機能の発揮の観点から、その跡地の早期復旧が求められている。さらに、藻岩山や円山などの森林については、都市近郊の身近な自然として、その保全や森林とのふれあいに対する期待が高まっている。</p> <p>一方、札幌市を中心とした木材の大消費地を抱えていることから、木材供給への期待も高い。</p> <p>このように、当該地域における自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高いものがある。このため本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>4,841 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>41,979 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>41.5 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>5.3 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	4,841 ha			保育面積	41,979 ha		路網整備	開設延長	41.5 km			改良延長	5.3 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	4,841 ha																
		保育面積	41,979 ha																
	路網整備	開設延長	41.5 km																
		改良延長	5.3 km																
費用対効果分析	総費用（C）	2,350,177 千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,779,857 千円																
		山地保全便益	2,981,028 千円																
		環境保全便益	124,713 千円																
		木材生産便益	1,241,125 千円																
		森林整備経費縮減等便益	1,669,602 千円																
		計	10,796,325 千円																
	分析結果（B/C）	4.59																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（かみかわほくぶ） 上川北部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>この地域は、天塩川の支流である安平志内川等の両岸に位置した南北に長い地域と天塩岳（1,558m）、ウエンシリ岳（1,142m）を主峰として、天塩川、名寄川等の集水域となっている山地で、森林の7割がミズナラ・シナノキ・カンバ類を主体とし、トドマツ・エゾマツ等が混交する天然林で占められ、3割は主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ・カラマツ等の人工林となっている。しかし、道内有数の寒冷地帯であり、厳しい気象条件の影響等から、人工林等においては期待した成長が見込めず、天然広葉樹との混交林化が進んでいる林分が見られるとともに、チシマザサが侵入し、笹生地又は疎林化した森林も分布している。</p> <p>これらの森林については、大部分が保安林となっており、地域の水源地として、また、基幹産業である農業及び林業の振興に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源かん養機能の発揮が求められている。</p> <p>また、優れた山岳景観を有し道立自然公園となっている天塩岳のほか、ピヤシリスキー場などがあり、登山やスキー、森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>さらに、この地域は、林業・木材産業が農業に次ぐ第一次産業として発展してきたところであり、森林認証の取得等の取組がなされているなど、国有林に対しての期待も高い。</p> <p>このように、当該地域における自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高いものがある。このため本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた森林整備を行うことを目的とする。</p>		
	主な事業内容	森林整備 更新面積 路網整備 保育面積 開設延長 改良延長	103 ha 14,963 ha 14.1 km 2.3 km
費用対効果分析	総費用（C）		1,256,327 千円
	総便益（B）	水源かん養便益	7,375,087 千円
		山地保全便益	4,276,959 千円
		環境保全便益	150,235 千円
		木材生産便益	365,851 千円
		森林整備経費縮減等便益	4,054,890 千円
		計	16,223,022 千円
	分析結果（B/C）		12.91
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（きたかみがわちゅうりゅう） 北上川中流森林計画区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 岩手南部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、北上川中流森林計画区（岩手南部森林管理署管内）における更新、保育及び林道の新設・改良等を行う事業である。</p> <p>当計画区は、北上川中流の西側に位置する奥羽山脈地域に所在する114,012haの国有林野を対象とし、適切な森林整備の実施を通じた国土の保全及び水源のかん養等に関する地域の要請が高いとともに、木材加工が発達していることから林産物の計画的安定的供給に対して要請が強い地域である。</p> <p>本事業は、これらの地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止に積極的に寄与するため植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>191 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,741 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>15.8 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	191 ha			保育面積	2,741 ha		路網整備	開設延長	15.8 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	191 ha												
		保育面積	2,741 ha												
	路網整備	開設延長	15.8 km												
費用対効果分析	総費用（C）	1,119,534 千円													
	総便益（B）	水源かん養便益	2,231,274 千円												
		山地保全便益	1,246,773 千円												
		環境保全便益	153,012 千円												
		木材生産便益	975,443 千円												
		森林整備経費縮減等便益	288,279 千円												
		計	4,894,781 千円												
	分析結果（B/C）	4.37													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（きたかみがわちゅうりゅう） 北上川中流森林計画区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 岩手南部森林管理署遠野支署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北上川中流森林計画区（岩手南部森林管理署遠野支署管内）における更新、保育及び林道の新設・改良等を行う事業である。</p> <p>当計画区は、北上川中流の東側に位置する北上高地に所在する36,370haの国有林野を対象とし、適切な森林整備の実施を通じた国土の保全及び水源のかん養等に関する地域の要請が高いとともに、木材加工が発達していることから林産物の計画的、安定的供給に対して要請が強い地域である</p> <p>本事業は、これらの地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止に積極的に寄与するため植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: left;">主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td style="text-align: right;">212 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">3,041 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">32.8 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.4 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	212 ha			保育面積	3,041 ha		路網整備	開設延長	32.8 km			改良延長	0.4 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	212 ha																
		保育面積	3,041 ha																
	路網整備	開設延長	32.8 km																
		改良延長	0.4 km																
費用対効果分析	総費用（C）	1,804,882 千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,722,527 千円																
		山地保全便益	1,497,092 千円																
		環境保全便益	179,022 千円																
		林業生産便益	2,048,751 千円																
		森林整備経費縮減等便益	1,072,167 千円																
		計	7,519,559 千円																
	分析結果（B/C）	4.17																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（よねしろがわ） 米代川森林計画区 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、米代川森林計画区（米代東部森林管理署管内）における更新、保育及び林道の新設・改良等を行う事業である。</p> <p>当計画区は、秋田県北東部の米代川の上流に位置する、100,652haの国有林野を対象とし、適切な森林整備の実施を通じた国土の保全及び水源のかん養等に関する地域の要請が高いとともに、木材加工が発達していることから林産物の計画的、安定的供給に対して要請が強い地域である。</p> <p>本事業は、これらの地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止に積極的に寄与するため植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための林道の新設等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>274 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,871 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>50.7 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>11.2 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	274 ha			保育面積	3,871 ha		路網整備	開設延長	50.7 km			改良延長	11.2 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	274 ha																
		保育面積	3,871 ha																
	路網整備	開設延長	50.7 km																
		改良延長	11.2 km																
費用対効果分析	総費用（C）	2,401,341 千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,272,242 千円																
		山地保全便益	1,707,059 千円																
		環境保全便益	213,554 千円																
		木材生産便益	3,282,403 千円																
		森林整備経費縮減等便益	1,319,440 千円																
		計	10,794,698 千円																
	分析結果（B/C）	4.50																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（よねしろがわ） 米代川森林計画区 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部署上小阿仁支署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、米代川森林計画区（米代東部森林管理署上小阿仁支署管内）における更新、保育及び林道の新設・改良等を行う事業である。</p> <p>当計画区は秋田県北東部に所在する63,463haの国有林野を対象とし、適切な森林整備の実施を通じた国土の保全及び水源のかん養等に関する地域の要請が高いとともに、木材加工が発達していることから林産物の計画的、安定的供給に対して要請が強い地域である。</p> <p>本事業は、これらの地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止に積極的に寄与するため植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">239 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">2,139 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">18.2 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">2.0 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	239 ha			保育面積	2,139 ha		路網整備	開設延長	18.2 km			改良延長	2.0 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	239 ha																
		保育面積	2,139 ha																
	路網整備	開設延長	18.2 km																
		改良延長	2.0 km																
費用対効果分析	総費用（C）	1,092,784 千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,279,214 千円																
		山地保全便益	478,712 千円																
		環境保全便益	115,262 千円																
		林業生産便益	1,425,323 千円																
		森林整備経費縮減等便益	334,229 千円																
		計	3,632,740 千円																
	分析結果（B/C）	3.32																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（いわき） 磐城森林計画区 （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 磐城森林管理署																
事業の概要・目的	<p>磐城森林計画区は、福島県東部に所在する86,266haの国有林野を対象としている。森林の重視すべき3機能区分は、水土保全林76,437ha（88%）、森林と人との共生林3,352ha（4%）、資源の循環利用林6,476ha（8%）となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民の生活と深く結び付いてきたところである。近年、これらに加えて、保健、文化、教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止等といった森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 15%;">1,569 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>14,061 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>33.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>16.6 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,569 ha			保育面積	14,061 ha		路網整備	開設延長	33.9 km			改良延長	16.6 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,569 ha																
		保育面積	14,061 ha																
	路網整備	開設延長	33.9 km																
		改良延長	16.6 km																
費用対効果分析	総費用（C）	5,422,728 千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	6,321,726 千円																
		山地保全便益	2,933,472 千円																
		環境保全便益	651,068 千円																
		木材生産便益	4,005,561 千円																
		森林整備経費縮減等便益	2,784,868 千円																
		計	16,696,695 千円																
	分析結果（B/C）	3.08																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（あき） 安芸森林計画区 （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 安芸森林管理署																
事業の概要・目的	<p>安芸森林計画区は、高知県東部に位置し室戸・阿南海岸国定公園を含む区域であり、国有林は安芸・安田・奈半利川上流部を中心とした、29,025haを対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業、及び林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">主な事業内容</td> <td style="text-align: center;">森林整備</td> <td style="text-align: center;">更新面積</td> <td style="text-align: right;">343 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">保育面積</td> <td style="text-align: right;">2,493 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">路網整備</td> <td style="text-align: center;">開設延長</td> <td style="text-align: right;">17.0 Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">改良延長</td> <td style="text-align: right;">8.8 Km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	343 ha			保育面積	2,493 ha		路網整備	開設延長	17.0 Km			改良延長	8.8 Km
主な事業内容	森林整備	更新面積	343 ha																
		保育面積	2,493 ha																
	路網整備	開設延長	17.0 Km																
		改良延長	8.8 Km																
費用対効果分析	総費用（C）	2,181,777 千円																	
	総便益（B）																		
		水源かん養便益	2,005,756 千円																
	山地保全便益	462,616 千円																	
	環境保全便益	146,263 千円																	
	木材生産便益	1,642,435 千円																	
	森林整備経費縮減等便益	2,478,942 千円																	
	計	6,736,012 千円																	
	分析結果（B/C）	3.09																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林の有する多面的機能を健全に維持発揮させるため、森林の育成段階に応じた施業を実施して、森林に対する地域の要請に応じられると共に、森林を将来の世代に健全な形で引き継いでいくため、本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を、踏まえた計画的な森林整備の実施により、森林の有する機能を十分発揮させるに有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（くまがわ） 球磨川森林計画区 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本南部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>球磨川森林計画区は、熊本県南部に位置し、球磨川の源流部から河口部までの37,064haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の最源流部は、針広混交林の天然林で九州中央山地国定公園等に指定されているとともに、九州中央山地森林生物遺伝資源保存林が設定されており、自然景観の保全・形成及び学術研究等に重要な役割を果たしている。また、水源かん養保安林を主体とした保安林がほとんどであり、下流域の八代市、人吉市及び水俣市等の水がめとして重要な役割を担っている。さらに、従来よりスギ、ヒノキの人工造林が盛んであり、豊かな資源を利用した木材加工業が高度に発達しており地域の重要な産業となっている。</p> <p>本事業は、これらの状況を踏まえながら、国有林の有する水源かん養機能や保健文化機能など公益的機能の維持増進に重点を置きつつ、持続可能な森林経営に資するための路網整備を推進しながら適切な森林整備等を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>497 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,350 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>19.3 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>6.6 km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	497 ha		保育面積	11,350 ha	路網整備	開設延長	19.3 km		改良延長	6.6 km
森林整備	更新面積	497 ha													
	保育面積	11,350 ha													
路網整備	開設延長	19.3 km													
	改良延長	6.6 km													
費用対効果分析	総費用（C）	3,899,720 千円													
	総便益（B）	水源かん養便益	10,949,448 千円												
		山地保全便益	3,788,405 千円												
		環境保全便益	936,435 千円												
		木材生産便益	5,630,336 千円												
		森林整備経費縮減等便益	284,741 千円												
		計	21,589,365 千円												
	分析結果（B／C）	5.54													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮に対する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（おおよどかわ） 大淀川森林計画区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署																
事業の概要・目的	<p>大淀川森林計画区は、宮崎県中部に位置し、大淀川の源流部から湾岸にそぐ河口部までの89,380haの国有林野を対象としている。このうち宮崎森林管理署が管轄する国有林野は47,235haである。</p> <p>当計画区は、カシ類、シイ類、ミズナラ等の生育する天然林とスギ、ヒノキの人工林からなり、その多くは霧島屋久国立公園や国及び県指定の自然環境保全地域に指定されている。また、水源かん養保安林を主体とした保安林が全体の81%以上に達し、下流の宮崎市等の水がめとして重要な役割を担っている。さらに、森林資源を利用した木材加工業や椎茸栽培等は地域の重要な産業となっている。</p> <p>本事業は、これらの状況を踏まえながら、国有林の有する水源かん養機能や保健文化機能など公益的機能の維持増進に重点を置きつつ、持続可能な森林経営に資するための路網整備を推進しながら適切な森林整備等を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 15%;">884 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>9,584 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>7.4 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	884 ha			保育面積	9,584 ha		路網整備	開設延長	7.4 km			改良延長	7.4 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	884 ha																
		保育面積	9,584 ha																
	路網整備	開設延長	7.4 km																
		改良延長	7.4 km																
費用対効果分析	総費用（C）	2,885,558 千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	12,419,634 千円																
		山地保全便益	2,900,684 千円																
		環境保全便益	427,700 千円																
		木材生産便益	4,172,081 千円																
		森林整備経費縮減等便益	159,310 千円																
		計	20,079,409 千円																
	分析結果（B/C）	6.96																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮に対する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（おおよどかわ） 大淀川森林計画区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署都城支署																
事業の概要・目的	<p>大淀川森林計画区は、宮崎県中部に位置し、大淀川の源流部から海岸にそぐ河口部までの89,380haの国有林野を対象としている。このうち都城支署が管轄する国有林野は42,145haである。</p> <p>当計画区は、カシ類、シイ類、ミズナラ等の生育する天然林とスギ、ヒノキの人工林からなり、その多くは霧島屋久国立公園や国及び県指定の自然環境保全地域に指定されている。また、水源かん養保安林を主体とした保安林が全体の81%以上に達し、下流の宮崎市等の水がめとして重要な役割を担っている。さらに、森林資源を利用した木材加工業や椎茸栽培等は地域の重要な産業となっている。</p> <p>本事業は、これらの状況を踏まえながら、国有林の有する水源かん養機能や保健文化機能など公益的機能の維持増進に重点を置きつつ、持続可能な森林経営に資するための路網整備を推進しながら適切な森林整備等を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: right;">主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td style="text-align: right;">589 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">6,815 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">4.7 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">12.6 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	589 ha			保育面積	6,815 ha		路網整備	開設延長	4.7 km			改良延長	12.6 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	589 ha																
		保育面積	6,815 ha																
	路網整備	開設延長	4.7 km																
		改良延長	12.6 km																
費用対効果分析	総費用（C）	1,877,343 千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	9,041,016 千円																
		山地保全便益	2,103,930 千円																
	環境保全便益	302,883 千円																	
	木材生産便益	2,519,923 千円																	
	森林整備経費縮減等便益	152,039 千円																	
	計	14,119,791 千円																	
	分析結果（B/C）	7.52																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮に対する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（おおすみ） 大隅森林計画区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 大隅森林管理署																
事業の概要・目的	<p>大隅森林計画区は、鹿児島県東部に位置し、大隅半島の最南端から北部までの48,900haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、カシ、シイ、タブ等の生育する天然林とスギ、ヒノキの人工林からなり、その多くは霧島屋久国立公園、日南海岸国定公園をはじめ、国及び県指定の自然環境保全地域に指定されている。また、水源かん養保安林を主体とした保安林が大部分を占め、下流域の水がめとして重要な役割を担っている。さらに、森林資源を利用した木材加工業は地域の重要な産業となっている。</p> <p>本事業は、これらの状況を踏まえながら、国有林の有する水源かん養機能や保健文化機能など公益的機能の維持増進に重点を置きつつ、持続可能な森林経営に資するための路網整備を推進しながら適切な森林整備等を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>185 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>7,308 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>5.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>23.1 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	185 ha			保育面積	7,308 ha		路網整備	開設延長	5.9 km			改良延長	23.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	185 ha																
		保育面積	7,308 ha																
	路網整備	開設延長	5.9 km																
		改良延長	23.1 km																
費用対効果分析	総費用（C）	2,510,640 千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	8,727,271 千円																
		山地保全便益	2,461,330 千円																
		環境保全便益	455,675 千円																
		木材生産便益	6,117,933 千円																
		森林整備経費縮減等便益	219,927 千円																
		計	17,982,136 千円																
	分析結果（B/C）	7.16																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮に対する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		